

令和3年度  
ながさき地域医療人材支援センター  
長崎県離島・へき地医療支援センター  
事業報告書

長崎大学病院  
地域医療支援センター

## 1. スタッフ

センター長            高山 隼人

医            師            渡邊 毅

医            師            塩田 純也

事            務            小坂 哲也

事            務            大平 真弓

事            務            小川 久美

事            務            森 まどか（～令和4年2月）

## 2. ながさき地域医療人材支援センター委託業務内容

### (1) 医師不足状況等の把握・分析に関すること

県内の医師不足状況や地域偏在等を把握・分析するため調査事業を実施

地域医療を志向する医師の情報収集や蓄積

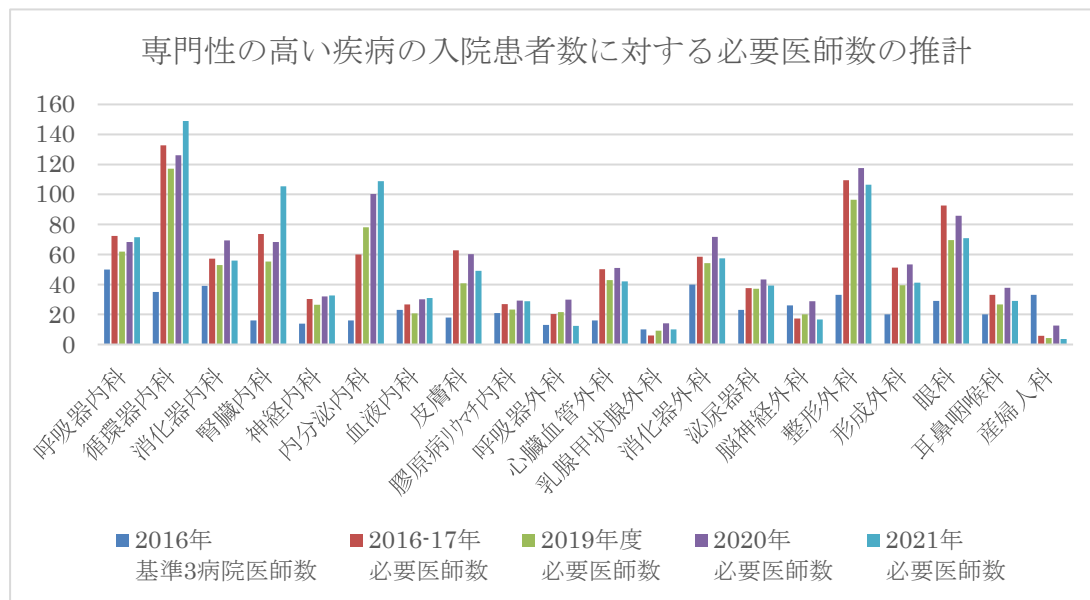
#### (ア) COVID-19 前と COVID-19 下とでの国保レセプトデータから医師の適正配置を比較検討 【資料 1】

##### 〈目的〉

国保レセプトデータによる受療状況から「専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数の推計」を検討したところである。しかしながら、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、令和 2 年の医療の受療動向が診療科により変化していたが単年のため、令和 3 年も同様の傾向であるかを分析する。

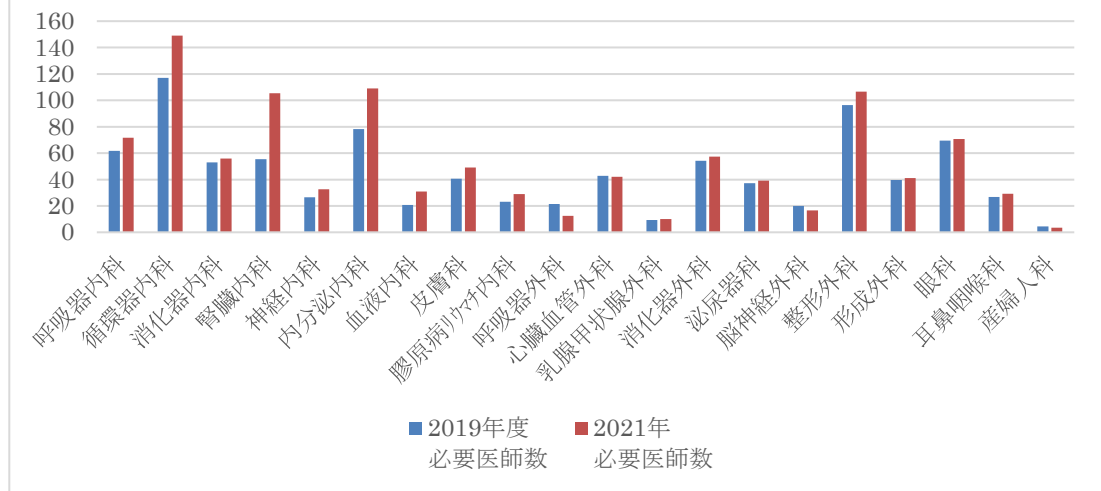
##### 〈結果〉

これまでの国保レセプトデータから推計した必要医師数では、増加傾向にある診療科は、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、血液内科、膠原病・リウマチ内科であった。2016-2017 年と比較して減少傾向にある診療科は、皮膚科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科であった。



COVID-19 前(2019 年度)と中 (2021 年 1 月から 12 月)における専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数を比較した。増加していた診療科は、腎臓内科 1.91 倍、血液内科 1.49 倍、内分泌内科 1.39 倍、循環器内科 1.27 倍、膠原病リウマチ内科 1.25 倍と続いている。減少していた診療科は 4 診療科で、呼吸器外科 0.58 倍、産婦人科 0.82 倍、脳神経外科 0.84 倍、心臓血管外科 0.98 倍であった。

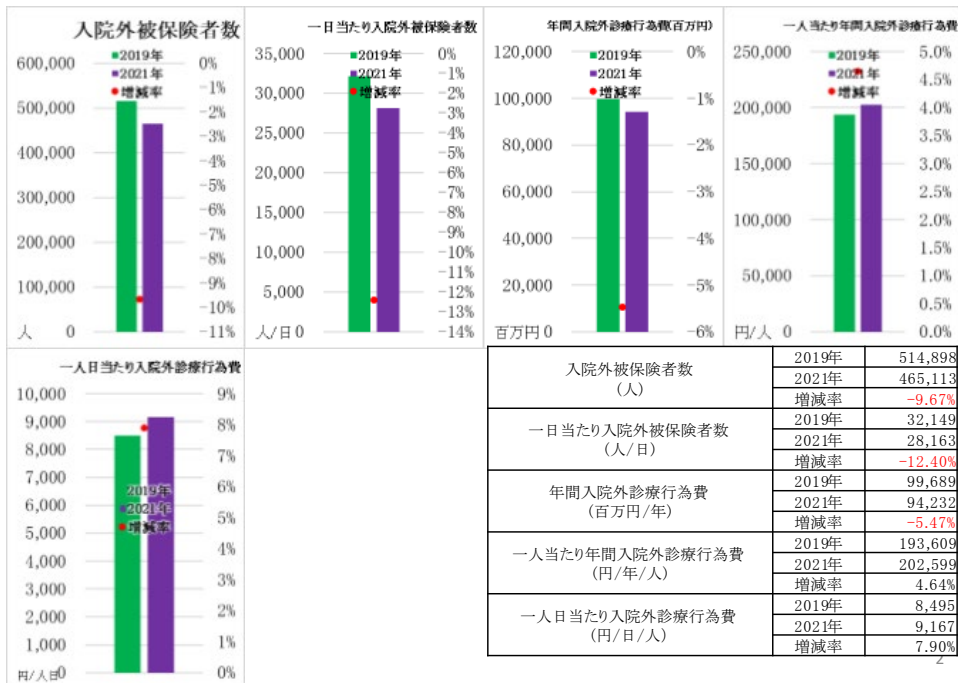
## 2019年度と2021年での必要医師数の比較



合わせて、外来の受療動向を確認するため、国保レセプトデータの入院外データより解析を行った。入院外被保険者数と一日当たり入院外被保険者数は減少しており、COVID-19により外来受診の手控えが起っていた。年間入院外診療行為費も、5.47%減少していた。しかし、一人当たり年間入院外診療行為費と一人日当たり入院外診療行為費に関しては増加しており、医療の質の低下なく適切な外来診療が行われていると思われる。

## 長崎県における入院外の受診状況

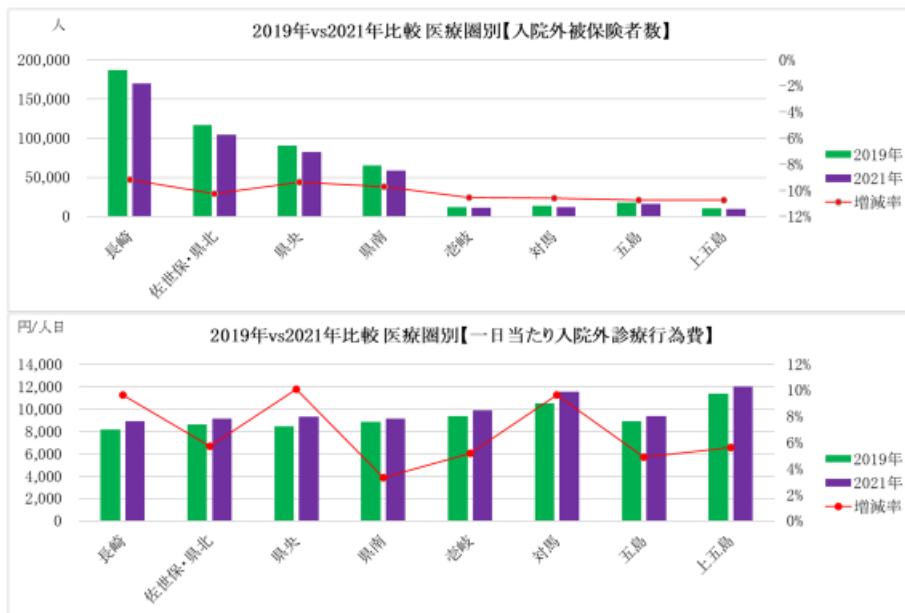
国民健康保険加入者および後期高齢者医療制度加入者 (2019年1月～12月と2021年1月～12月)



医療圏別でみると、入院外被保険者数は全医療圏で9-11%減少していた。一日当たり入院外診療行為費は、すべての医療圏で4-10%増加していた。

## 医療圏別入院外の受診状況

国民健康保険加入者および後期高齢者医療制度加入者(2019年1月～12月と2021年1月～12月)



### (イ) 離島の医師不足状況の把握

【資料 2】

#### 〈目的〉

厚生労働省が2年に1回三師調査を実施しているが、結果報告が1年後になることから、令和3年12月末現在、離島における医師数調査を行った。

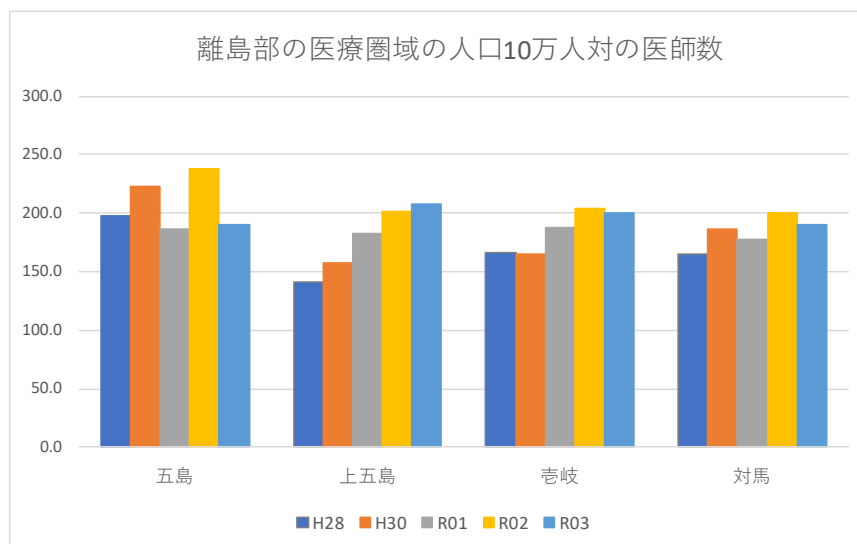
#### 〈結果〉

離島の医療施設医師数は、206名と令和2年と比較すると24名減少していた。内訳は、五島医療圏18名減、上五島医療圏増減なし、壱岐医療圏2名減、対馬医療圏4名減であった。人口10万人隊の医師数は、195.5人/10万であった。

#### 【離島部の医療圏域の人口10万人対の医師数（無職等を除く）】

※出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

	H28 12月末		H30 12月末		R01 12月末		R02 12月末		R03 12月末	
	医療施設 医師数	10万人対 医師数	医療施設 医師数	10万人対 医師数	医療施設 医師数	10万人対 医師数	医療施設 医師数	10万人対 医師数	医療施設 医師数	10万人対 医師数
<b>全国</b>	304,759	240.1	311,963	246.7			336,822	267.0		
<b>県計</b>	4,042	295.7	4,108	306.3			4,368	332.8		
五島	73	197.3	78	222.9	65	185.9	82	238.40	64	189.7
上五島	31	140.9	33	157.1	33	183.3	40	202.10	40	207.4
壱岐	45	166.7	43	165.4	48	188.2	51	204.40	49	200.2
対馬	51	164.5	56	186.7	52	177.3	57	200.00	53	190.3
離島部	200	170.9	210	187.5	198	183.7	230	213.7	206	195.5



(ウ) 登録医の推進活動

令和4年3月末現在 55名

- ・令和2度のパンフレット送付時に同封
- ・辞令交付式・もくせい会での説明 など

(2) 医師不足病院への支援に関すること

登録医等を大学・中核・へき地等の病院を循環させながら、医師のキャリア形成支援を図るとともに、医師不足病院へ斡旋・紹介する。また、大学の人事配置等を決定する会議等に、ながさき地域医療人材支援センターが参画し、関与する。

(ア) 医師不足病院に対する診療援助

令和3年度は、離島・へき地の公的病院からの依頼なし

(イ) 医師不足病院に係る医師の斡旋・医療機関見学

【資料3】

〈実績〉

見学 3名 (長崎県対馬病院1名、長崎県上五島病院2名)

(令和2年度 見学0名)

〈成果〉

成立 2名 (長崎県対馬病院1名、長崎県上五島病院1名)

(令和2年度 成立0名)

(ウ) 医師募集説明会

9月11日(土) Web説明会 長崎大学病院

Web説明会参加者：3名

事務局等出席者：高山セツ子-長、小坂、小川、森

県庁：前田参事、井邑係長、黒田主任主事

10月17日(日) Web 説明会 長崎大学病院

Web 説明会参加者：4名

事務局等出席者：高山センター長、小坂、小川、森

県庁：谷川係長、黒田主任主事

自開協：羽野事務局長

長崎市地域保健課：山口課長、牧係長、荒木支所長

12月4日(土) 説明会 in 東京 (カンファレンス東京)

説明会参加者：2名

事務局等出席者：高山センター長、小坂、森

県庁：黒田主任主事

(令和2年度 参加者7名(9/27Web3名、10/17Web4名))

(工) 医師からの求職等の照会

【資料4】

照会件数 31件

(令和2年度 32件)

(才) 面談医師数

15名

(令和2年度 延べ10名、実質9名)

(力) 地域医療継続支援事業

近年、全国的に若手医師の都市部への偏在が指摘されている。若手医師を一定数確保している長崎市、佐世保市、大村市の基幹病院は周辺の医師不足地域をカバーする役割を果たしているという側面があるが、都市部周辺以外の医療圏では医師不足だけでなく医師の高齢化も進んでおり、医師不足地域に医師を確保することは喫緊の課題となっている。

・2回のアンケート調査を実施し情報提供を希望される医師・学生に対する情報提供

令和4年1月 平成30年3月の情報提供希望者 9名

令和2年4月の情報提供希望者 8名 に情報提供

・公的医療機関の医師募集一覧

【資料5】

・地域の情報に関する冊子 3種類

【資料5】

・承継情報のHP掲載

令和元年12月より医師会の承継情報を提供頂き、当センターHPに掲載開始し、毎月更新した。

(キ) ながさきキャリア・デベロップメント支援事業

【資料6】

専門医として医療に携わってきた中堅医師～ベテラン医師が、不安なく、地域を“幅広く

総合的に診る”ことができるように、総合診療医へのキャリア・デベロップメントを支援する。

〈成果〉

- ・1名利用 宇久診療所に令和3年4月より勤務する医師が、佐世保市総合医療センターにおいて小児科研修を受けた。

研修期間：令和3年4月1日～令和4年3月3日 全21回

実施時間：毎週木曜日 9：00～15：00

研修内容：小児科外来における小児科診療の全般

指導者：小児科診療科長外小児科医師

### (3) 医師の派遣事務に関すること

関係機関と協力しながら、医師不足の区域等に医師を派遣する計画案を作成する。

#### (ア) 長崎県の医師の需給に関する長崎県と病院企業団と長崎大学との会議

##### ① 目的

県民の医療を守るため、離島やへき地の医師の需給問題を実質的かつ具体的に話し合うこと目的とする。

##### ② 会議

年2回予定

##### ③ 委員

大学：中尾病院長、前村医学部長、迎副病院長、江口副病院長、浜田教授

病院企業団：米倉企業長、八坂院長

県：寺原部長、加藤室長

##### ④ 事務局

地域医療支援センター

#### 第1回医師需給に関する3者会議

【資料7】

令和4年2月18日（金）11：00～12：10

場所：大学病院シミュレーションセンター及びWeb

※以下、会議次第を抜粋

##### (1) 長崎県の養成医の状況

(ア)長崎県：養成医の配置状況と新専門医制度覚書

(イ)長崎県病院企業団：養成医の入局状況・養成状況

##### (2) 大学病院から報告

(ア)令和4年度の専門研修登録者数・大学医局入局予定者数

(イ)県内マッチング状況等

##### (3) 今後の情報共有項目の検討

##### (4) その他

### (4) 医師のキャリア形成支援に関すること

地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援への取組



(ア) 医学文献複写サービスの提供

依頼件数 10 件（文献総数 19 件）

（令和2年度 依頼件数28件（文献総数88件））

(イ) 長崎県における総合診療専門医の育成・支援に関する長崎県総合診療専門医養成連携プログラム推進事業

① 総合診療専門医養成推進委員会 【資料 8】

総合診療医を育成支援する長崎県版モデルプログラムを有効活用するための体制作り並びに活用推進の方策及び連携プログラムに参加する後期研修医を増やすための方策の具体案を検討する。

活動状況

第1回委員会：令和3年7月7日（水）

第2回委員会：令和4年3月9日（水）

② 遠隔指導システム

指導医が、遠隔地で研修する専攻医に対して遠隔指導システム（Zoom ミーティングクラウド）を利用してカンファランスや面談を行う。

活用実績 10回

指導医・専攻医セミナー（ポートフォリオ研修会） 2回

医学生セミナー 6回

総合診療専門医養成推進委員会 2回

その他活用実績

県養成医の医学生・研修医のWeb面談で活用

（令和2年度の活用実績 14回

内訳：カンファランス3回、研修会2回、会議6回、面談1回、その他2回）

③ 指導医・専攻医のためのセミナー 【資料 9】

指導医が専攻医や研修医、医学生に適切な指導を行うための研修を行う。

・第5回ポートフォリオ研修会

令和3年9月23日（木）

講師：藤沼 康樹 先生 日本医療福祉生協連合会 家庭医療学開発センター

大西 弘高 先生 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター

指導医：24名

専攻医：12名

その他の参加者：6名

・第6回ポートフォリオ研修会

令和4年3月20日（日）

講師：大西 弘高 先生 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター  
指導医：15名  
専攻医：9名  
その他の参加者：3名

④ 医学生のためのセミナー

【資料10】

- ・第6回 6月1日(火) 柿添病院 「明日まで待てない急性腹症」  
指導医3名、学生9名
- ・第7回 7月21日(水) 長崎医療センター「急な腹痛の診方」  
指導医3名、学生5名
- ・第8回 10月21日(木) 上戸町病院「ホリリからは見えにくい地域の認知症?」  
指導医4名、学生3名
- ・第9回 11月24日(火) 上五島病院「腰が痛い!~いろんな見方をしてみよう~」  
指導医3名、学生1名
- ・第10回 1月25日(火) 長崎大学病院 「関節痛の見方」  
指導医3名、学生8名
- ・第11回 3月1日(火) 平戸市民病院  
「ケアマネジャー医が解説する介護保険の国試対策」  
指導医3名、学生11名

⑤ 地域枠学生生活動支援事業

【資料11】

長崎大学医学部地域枠学生が、長崎県の医療ニーズや医師のライフスタイルを学んでもらうために、指導医らと意見交換し、県内での地域医療に従事するためのモチベーションを高める。

令和3年度地域枠活動報告会

テーマ：医師としても、人としても、充実した人生にするために今できることを考えよう

日時： 第1日目…令和3年11月 5日(金) 16:45~19:25

第2日目…令和3年11月12日(金) 16:45~19:15

内容：

第1日目

- ① 地域枠学生同士の交流  
グループ内で自己紹介、アイスブレイク
- ② ライフプランを立てる  
現時点でのライフプランを立て、ワークシートに黒字で記入
- ③ 講演Ⅰ 南 貴子先生(メディカルワークライフバランスセンター)
- ④ 講演Ⅱ 近藤 慶先生(上戸町病院、副院長、総合診療科)
- ⑥ 事前インタビューの発表

第2日目

- ① 講演Ⅲ 坂上祐樹先生（平成医療福祉グループ）
- ② ロールモデルインタビュー  
実行委員が県内病院の先生方に事前インタビューを行った。  
その内容を整理して発表する
- ③ ライフプランを再考  
ご講演やインタビュー内容を踏まえてライフプランを立て直し、ワークシートに赤字で記入

⑥ 長崎県内で働く医師を増やすための研修事業 【資料 12】

(i) 医学生地域見学実習

医療系学生が短期滞在型の地域見学を行う。

〈実績〉

見学者 136名 (1 週間見学 115名、4 週間見学 21名)

離島医療・保健実習(1 週間) 110名

高次臨床実習(4 週間) 25名

(内 4名がコロナ感染拡大により 1 週間に短縮)

(令和 2 年 見学者 370名 (1 週間見学 273名、4 週間見学 97名))

(ii) 離島医療教育研究会

実習に参加した学生のアンケート結果を指導者にフィードバックし、離島医療教育の現状と課題を議論する。

- ・令和 3 年度離島医療教育研究会

日時：令和 4 年 2 月 9 日 (水) 18:00 ~ 19:30

場所：長崎大学医学部(新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン開催)

講演：「卒前・卒後の医学教育の方向性」

日本医学教育学会 理事長

京都大学 医学教育・国際化推進センター 教授 小西靖彦 先生

(令和 2 年 新型コロナウイルス感染症の拡大の関係で、4 地区での開催中止)

(ウ) 長崎県後期研修プログラム構築推進事業

① 説明会

- ・「長崎県専門研修概要説明会」

開催日： 7 月 3 日 (土)

会場： 長崎大学病院 参加者：76名

② 専攻医登録システム「キャリアシステム」

令和元年度より開始した専攻医の登録作業を各基幹施設で実施

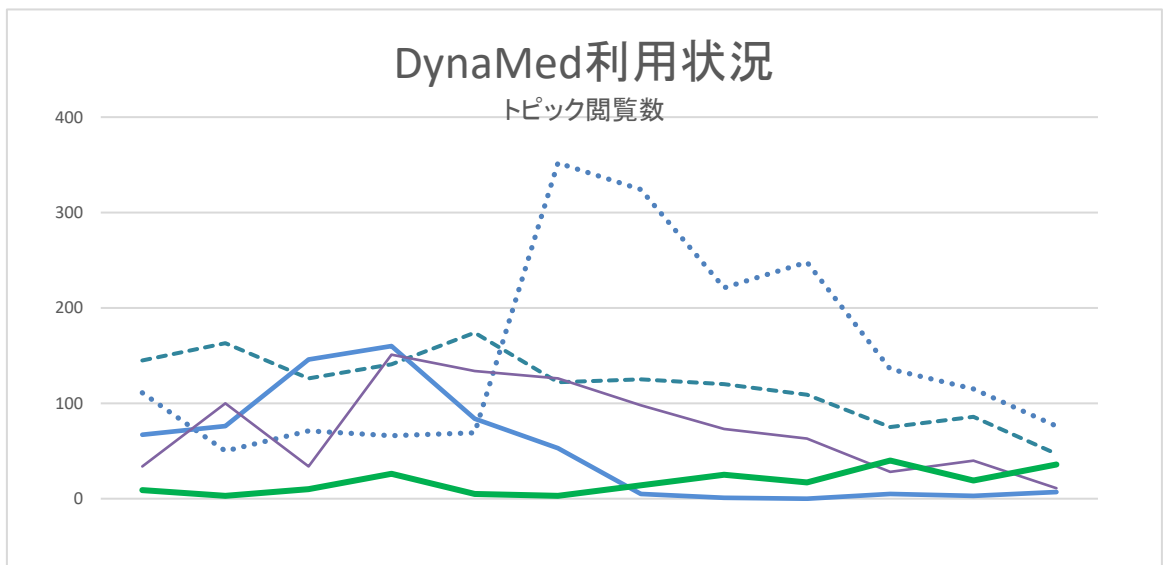
令和 3 年度新規登録：95名

- (i) 長崎大学病院 87名
- (ii) 上戸町病院 1名
- (iii) 長崎医療センター 1名

- (iv) 佐世保市医療センター 2名
  - (v) 長崎県上五島病院 1名
  - (vi) 長崎みなとメディカルセンター 2名
  - (vii) 小島居諫早病院 1名
- (※令和2年度 長崎県内登録者 87名)

③ EBM ツールの利用

キャリア形成支援目的で、専門研修プログラムやキャリア形成支援利用登録を行った医師に、EBM ツールを提供して長崎県内での定着に繋げる。



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017	111	50	71	66	69	352	324	221	248	136	115	76
2018	145	163	126	141	174	122	125	120	109	75	86	47
2019	67	76	146	160	84	53	5	1	0	5	3	7
2020	34	100	34	151	134	126	98	73	63	28	40	11
2021	9	3	10	26	5	3	14	25	17	40	19	36

(工) 新専門医制度に対応した専攻医確保事業

専門研修見学等旅費助成事業

【資料 13】

県内病院見学及び医局説明会への参加者累計 61名

見学先別累計：長崎大学病院 48名、長崎医療センター 10名

上戸町病院 1名、平戸市民病院 1名、

長崎県島原病院（長崎大学病院プログラム連携施設として見学）1名

旅費助成の対象者 39名

〈成果〉

長崎県内プログラム採用数 11名（41% /研修医2年次以降見学者27名）

採用施設：長崎大学病院 11名

（令和2年度 長崎県内プログラム採用数 6名（60%）

採用施設：長崎大学病院5名、佐世保市総合医療センター1名）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、見学受入れ中断もあり、見学数の減少が継続している。

(5) 医師のキャリア形成支援・負担軽減に関すること

長崎県が養成した医師若しくは同制度による医学生及び地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安を解消するための取組を行う。また、医師の派遣先となる医療機関の勤務環境の改善が図られるよう、医療勤務環境改善支援センターと連携を行う。

(ア) 医学生に関して

- ① 夏季 WS：令和 3 年 8 月 19-21 日対馬市の予定であったが、コロナ禍のため、20 日 Web 開催に変更して実施した。
- ② 冬季 WS：令和 4 年 3 月 19-20 日県庁で実施。全体講義と学年別に先輩医師との交流会を実施した。
- ③ 学年別 Web ミーティング
  - (i) 5 年生 Web 懇談会：令和 3 年 10 月 12 日 参加者 10 名
  - (ii) 4 年生 Web 懇談会：令和 3 年 11 月 10 日 参加者 8 名
  - (iii) 1 年生 Web 懇談会：令和 3 年 12 月 6 日 参加者 19 名
  - (iv) 2 年生 Web 懇談会：令和 3 年 12 月 15 日 参加者 23 名
  - (v) 3 年生 Web 懇談会：令和 4 年 1 月 26 日 参加者 20 名
- ④ 6 年生マッチング関係面談
  - (i) 初回面談 3 月冬季 WS
  - (ii) 7-8 月 面談（対面もしくは Web）
  - (iii) 9 月 最終面談（対面もしくは Web）

(イ) 研修医に関して

- ① 2 年次：令和 3 年 5 月 25-28 日 3 年目以降の進路相談、10 月 27 日-11 月 4 日 専攻医関係 Web 面談
- ② 1 年目：令和 4 年 1 月 13-24 日対面面談 専攻医スケジュールと 3 年目以降の進路相談

(ウ) 義務期間中の養成医に関して

- ① 対馬地区： 令和 3 年 10 月 6-7 日 21 名面談実施
- ② 壱岐地区： 令和 3 年 10 月 11 日 5 名面談実施
- ③ 五島地区： 令和 3 年 10 月 25 日 3 名面談実施
- ④ 上五島地区：令和 3 年 11 月 17-18 日 18 名面談実施

(6) 求人情報の発信及び相談対応に関すること

(ア) 各種学会でのブース開設等による医師募集活動

学会名	開催日	会場	来訪者数
第 107 回日本消化器病学会 総会	4/15-17	京王プラザホテル（東京）	ハイブリッド開催

第12回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	5/22-23	福岡国際会議場（福岡）	Web 開催
第24回 日本臨床救急医学会 総会・学術集会	6/10-12	パシフィコ横浜ノース（神 奈川）	Web 開催
第7回 日本NP学会学術集会	11/19-21		Web 開催
第49回 日本救急医学会総会・ 学術集会	11/21-23	ベルサール東京日本橋 （東京）	85名
第13回 日本 Acute Care Surgery学会学術集会	11/26-27	出島メッセ長崎（長崎）	46名
第27回 日本災害医学会総会・ 学術集会	3/3-5	広島国際会議場（広島）	ハイブリッド 開催
第49回 日本集中治療医学会 学術集会	3/18-20	仙台国際センター（宮城）	Web 開催
		計	131名

（注）・第107回日本消化器病学会総会はハイブリッド開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。

（バナー広告から60秒動画の配信及び当センターホームページへリンク）

・第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会はWeb開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。

（バナーから医師募集のためのポスター、総合診療専門医養成連携プログラム及び当センターホームページへリンク）

・第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会はWeb開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。（幕間広告として60秒動画の配信）

・第7回日本NP学会学術集会はWeb開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。（Web展示及び抄録集広告）

・第27回日本災害医学会総会・学術集会はハイブリッド開催となったことから、バナー広告（当センターホームページへリンク）を実施するとともに、展示事務局に依頼の上、配布のためのチラシを受付場所付近に備え置いてもらった。

・第49回日本集中治療医学会学術集会については3/16深夜に発生した福島・宮城の地震により、急遽、現地展示は中止となり完全Web開催となった。医師募集活動としては、60秒動画をWebにより展示予定。（展示期間：令和4年4月1日～6月30日）

（イ）医療情報誌等への医師募集及び医師募集説明会の広告掲載

【資料14】

① 医師募集説明会の広告掲載

- ・日本医事新報（10回、7月～11月）
- ・レジデントノート（3回、8月～11月）
- ・総合診療（5回、7月～11月）
- ・メディカルトリビューン（6回、8月～11月）

② 医師募集の広告掲載

- 日本医事新報（8回、4月～3月）
- 防衛医科大学同窓会誌（2回、7月及び12月）
- Gノート（1回、6月）
- レジデントノート（4回、7月～3月）
- 総合診療（3回、12月～2月）
- メディカルトリビューン（6回、1月～3月）

(ウ) 求人情報サイトによる情報発信

【資料15】

① 医師募集説明会の広告

- e-doctor メルマガ（3回、8月～10月）

② 医師募集の広告

- e-doctor メルマガ配信（6回、12月～3月）
- エム・エス・ピー アーテック バナー広告（6/18～8/30）

### 3.長崎県離島・へき地医療支援センター委託業務内容

専任医師：高山隼人

- (1) 代診医の診療派遣、斡旋等の連絡調整に関すること 【資料16】  
診療所医師が学会出席や休暇取得などによる不在となる場合に要請を受け、専任医師の派遣又は“しますけっと団”による代診医の斡旋を行う。

＜代診、診療応援＞

派遣・斡旋件数 103件（日数 198日）

（令和2年度 派遣・斡旋件数 41件、日数 122日）

- (2) 県内離島診療所への常勤医師の斡旋・紹介に関すること 【資料3】

〈実績〉

見学6名、延べ6施設

（五島市玉之浦診療所2名、西海市江島診療所1名、長崎市伊王島診療所1名、五島中央病院附属診療所奈留医療センター2名）

（令和2年度 見学2名、延べ3施設）

〈成果〉

成立4名（五島市玉之浦診療所、長崎市伊王島診療所、松浦市立福島診療所、奈留医療センター）

（令和2年度 成立3名）

- (3) 離島・へき地の医師募集に関すること

「2（5）求人情報の発信及び相談対応に関すること」を参照

- (4) その他

令和3年度 長崎県へき地医療支援計画策定等会議

令和3年8月31日（金） 県庁

出席者 高山、小坂